



2026 年 6 月 23 日

各 位

会 社 名 マクニカホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 原 一将
(コード番号：3132 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役 大河原 誠
(TEL 045-470-8980)

2026 年 3 月期有価証券報告書の英文開示に関するお知らせ

当社は、2026 年 6 月 23 日に開示した 2026 年 3 月期有価証券報告書について、日本語版と同時に英文開示を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景

当社は、国内外の多様な投資家との対話を重ねるなかで、すべての投資家が同じタイミングで同等の情報にアクセスできることが、公正な資本市場の前提であるとの認識を深めるとともに、英文開示の重要性を認識してまいりました。

有価証券報告書は、事業内容、経営リスク、コーポレートガバナンス、財務諸表の詳細など、投資判断の根幹となる包括的な情報を含む法定開示書類です。しかしながら、東京証券取引所の調査^{※1}によれば、プライム市場においても有価証券報告書の英文開示（すべて又は一部）を実施している企業は 17.7%にとどまり、日本語版と同時又は同日に英文を開示している企業は 5.9%に過ぎません。また、海外投資家を対象としたアンケート^{※2}では、有価証券報告書や株主総会招集通知などの開示書類の英文開示に満足していると回答した投資家はわずか 14%にとどまっており、優先的に英文開示に取り組むべき書類として有価証券報告書への高い要望が寄せられております。

当社はこうした情報格差の解消に向け、2024 年より東証義務化に先駆けて決算短信・決算説明資料・適時開示資料・コーポレートガバナンス報告書などの日英同時開示を開始し、2025 年には統合報告書の日英同時開示にも取り組みを拡大してまいりました。本年はさらに一歩進め、有価証券報告書の日英同時開示を開始いたしました。

2. 概要

2026 年 6 月 23 日に提出した 2026 年 3 月期有価証券報告書について、第 1 「企業の概況」から第 7 「提出会社の参考情報」までの主要セクションの英文版を、日本語版の提出と同時に当社ウェブサイトにて開示いたしました。英文版は以下よりご覧いただけます。

有価証券報告書（英文版）※当社 IR サイトに遷移いたします。

https://ssl4.eir-parts.net/doc/3132/ir_material6/280973/00.pdf

3. 今後の展望

当社は、英文開示の対象範囲の拡充を含め、国内外すべての投資家に対する公平で透明性の高い情報開示の充実に取り組んでまいります。これらの取り組みを通じ、資本市場との建設的な対話を一層深めてまいります。

※1 出所：東京証券取引所「英文開示実施状況調査集計レポート（2025 年 1 2 月末時点）」

※2 出所：東京証券取引所「英文開示に関する海外投資家アンケート調査結果（2025 年 9 月）」

以 上